

速報 平成26年度全国学力・学習状況調査結果(下野市の概要)

平成26年9月4日
下野市教育委員会

平成26年度の全国学力・学習状況調査の下野市の結果(国語、算数・数学)は、全国の平均正答率と比べ、小学校はほとんどの領域で、中学校はすべての領域で、全国平均正答率を上回る結果となりました。

【全国学力調査】

- A問題(主として「知識」に関する問題)
- B問題(主として「活用」に関する問題)
- ◇国語の領域(小・中)「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
- ◇算数の領域(小)「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」
- ◇数学の領域(中)「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」

【全国学習状況調査(児童・生徒質問紙)】

- 質問数 小学校、中学校ともに74問
- 回答方法 4つから選択等
- 質問内容 小学校、中学校ともにほぼ同じ内容
 - 朝食 ○起床・就寝時刻 ○目標、挑戦、達成感、長所
 - 睡眠、学習時間、学習塾 ○土曜日の過ごし方、テレビ、ゲーム時間
 - 読書・図書館 ○家庭でのコミュニケーション ○家の手伝い
 - 携帯・スマートフォンの使い方 ○家庭学習(計画、宿題、予復習)
 - 地域・社会 ○規範意識、人の気持ち、いじめ、人の役に立つ人間
 - 学習・教科の取り組み ○総合的な学習の時間 ○話し合い活動
 - 振り返り活動 ○発表の工夫 ○国語の学習 ○算数・数学の学習 等

【児童生徒のデータ】

- *下野市 小中学校全校のデータ
- *栃木県 公立小中学校全校のデータ
- *全国 公立小中学校全校のデータ

平成26年度全国学力・学習状況調査(学力調査)結果

下野市と全国平均正答率との比較【H19～26全体比較】

※ H23、24は抽出調査

◎大きく上回っている(5ポイント以上)

○上回っている(1ポイント以上5ポイント未満)

－同じ(±1ポイント未満)

▽下回っている(1ポイント以上5ポイント未満)

▼大きく下回っている(5ポイント以上)

小学校	H19	H20	H21	H22	H25	H26	中学校	H19	H20	H21	H22	H25	H26
国語A	○	○	○	○	○	▽	国語A	◎	○	○	○	○	○
国語B	◎	○	○	－	○	○	国語B	◎	◎	◎	◎	◎	◎
算数A	○	○	－	○	○	－	数学A	◎	◎	◎	◎	○	○
算数B	◎	○	－	○	○	○	数学B	◎	◎	◎	◎	◎	◎

全国学力調査結果 下野市と全国平均との比較【H26 領域別比較】

◎大きく上回っている（5ポイント以上）

○上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）

－同じ（±1ポイント未満）

▽下回っている（1ポイント以上5ポイント未満）

▼大きく下回っている（5ポイント以上）

小学校国語	国語A	国語B	小学校算数	算数A	算数B
話すこと・聞くこと	○	－	数と計算	－	○
書くこと	－	○	量と測定	○	○
読むこと	－	○	図形	－	○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	▽	○	数量関係	○	－

中学校国語	国語A	国語B	中学校数学	数学A	数学B
話すこと・聞くこと	○	／	数と式	○	○
書くこと	○	◎	図形	◎	◎
読むこと	○	◎	関数	◎	◎
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○	○	資料の活用	○	◎

1 小学校の全国学力調査結果について

国語のA問題は、全国の平均正答率を4領域の内「話すこと・聞くこと」「読むこと」が1～5ポイント上回っていました。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、1～5ポイント下回っていました。国語のB問題は、4領域の内「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国の平均正答率を1～5ポイント上回っていました。「話すこと・聞くこと」は、1ポイント未満下回っていました。

算数の問題Aは、全国の平均正答率を「量と測定」「数量関係」が1～5ポイント、「図形」が1ポイント未満上回っていました。算数の問題Bは、4領域とも全国の平均正答率を上回っていました。

2 中学校の全国学力調査結果について

国語のA問題は、全国の平均正答率を4領域とも1～5ポイント上回っていました。B問題は、「書くこと」「読むこと」が5ポイント以上、上回っていました。

数学のA・B問題では、全国の平均正答率をどの領域も1～5ポイント上回っていました。特に数学Bの関数領域は、全国の平均正答率を約7ポイント上回っていました。

3 小・中学校の全国学習状況調査結果について

今年度の学習状況調査（児童・生徒質問紙）の結果は、小学校では74項目中15項目で全国・県平均を上回っていました。中学校では74項目中45項目で全国・県平均を上回っていました。

小・中学校とも共通して、「朝食」「新聞を読む」「ニュース番組を見る」「友達との約束を守る」「授業での話し合う活動」「算数・数学の勉強が好き」「算数・数学の問題の解方の工夫」等について、よい傾向が見られました。

今後、この結果を分析し、学校・家庭・地域における学習指導や生活指導の工夫改善等に生かし、児童・生徒のさらなる学力向上につなげていきたいと考えています